



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
 URL:http://www.mokusankyo.jp
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

- | | | |
|----|----------------------|------------------|
| 目次 | 1 木産協三役会議を開催 | 4 ビッグサイト展示会へ準備整う |
| | 2 素材生産部会を開催 | 5 お知らせ・会議・イベント等 |
| | 3 第 5 回地域材利用推進協議会を開催 | 6 12 月期の住宅着工状況 |



1 木産協三役会議が開催される

1 月 11 日(水)、木産協三役による県庁等の関係機関及び団体等に対して、恒例の新年挨拶廻りを行った。その後、山形市内の催事場において三役会議を開催し、本年度事業の進捗状況及び次年度の取り組み、組織課題などについて話し合った。報告、決定事項は次のとおり。

(1) 組織関係

ア 入会、脱会の状況 (H29. 1. 11 現在)

前年度末時点		本年度増加		本年度減少(予定)		本年度増資		年度末時点(予定)	
組合員数	出資口数	組合員数	出資口数	組合員数	減資口数	組合員数	出資口数	組合員数	出資口数
155	1,609	4	24	3	37	4	16	156	1,612

※業務撤退が 2 社、他組織への変更が 1 社・増資は北村山支部 4 社・他賛助会員は 5 社

イ 崩壊支部の再確立

支部が崩壊している地域について、支部活動を実施している地域との要望活動等での格差が出てきていることから、特に、米沢市、最上地域について、平成 29 年度の重点項目に、支部の再確立を目標として掲げ、現役員、(新役員)の責任の下に、米沢市、最上地域において出張理事会を開催し、支部再確立に絞った取り組み等を実施する。

ウ 木産協組織の部会確立

木産協 160 社は幅広い業種が集まっており、現在同業種の 3 部会が設立され、活発な活動を展開している。部会の運営には、中心となって活動する事業体の存在や経費の捻出、責任体制を構築する必要があり、組合員の強い「意志」が必要である。このため、具体的な要望が提案されれば対応していくことにする。

(2) 平成 29 年度木産協総会等の日程

ア 平成 29 年度第 1 回理事会 4 月 26 日(水)・会場メトロポリタン山形(現理事対応)

イ 平成 29 年度通常総会 5 月 26 日(水)・会場メトロポリタン山形(全組合員参加)

※組合員の皆様はスケジュールに入れておいて下さい。

(3) 役員候補の選出の申し合わせ(理事は最終的に総会で決定される)

次の総会で役員の改選となることから、支部又は現理事が、責任をもって新理事候補を推薦する。また、木産協運営に関心が高く、かつ建設的・協力的なメンバーとすることなどを申し合せ、これらを現役員に通知する。

(4) 本年度事業の進捗状況等

当初計画の取り組みについては、ほぼ計画どおりの進捗である。

(H27 年度国庫補正事業終了。乾燥 JAS 製材認定支援 2 社。素材共同販売は、12 月末までで、集成材用材等 1 万 2 千 m³、木質バイオマス 1 万 5 千 t に達しており、過去最大になる見込)

1 月からの H28 国庫補正事業や 9 月からの「大江町美しい森づくり推進協議会」からの委託事業については取り組みを継続中であり、これらを含めた収支は均衡の見込み。

2 素材生産部会を開催 (協和木材新庄工場の視察研修等)

1月16日(月)、素材生産部会は、新庄市福田工業団地に完成した協和木材(株)新庄工場を初めて視察すると共に、素材生産関係組合員が直面している課題等について意見交換を行い一段と結束を固めた。また会議後は、新庄市内で新年会を行い協和木材幹部も含め親睦を深めた。悪天候等で当日欠席もあったが組合員18名が参加した。



【会議室での研修状況】

(1) 協和木材(株)新庄工場の視察研修

新庄工場は12月より試運転を開始し、4月以降の本格稼働に向けて調整を図っている段階であり、キャンターや髓所にある高速品質判定等のスキャナー等、全自動化された製造ラインと多数の人工乾燥施設、ほぼ満杯の土場(3万m³)、新規雇用53名等の最新鋭工場について説明を受けた。(29年度はさらに3名を雇用予定)

(2) 納材の状況

木産協は協和木材に対して、県指導の下、9月より共同納材を開始しており、県内供給の約4割を供給している。これまでの国有林等の生産請負から、購入林分の生産に移行しつつあることから、取り扱いの生産量も増加する予定であるが、季節的要因等から安定供給ができない状況もあり、予想を幾分下回っている。



【工場内での研修状況】

また、個人や団体等から制限無く受け入れる方針であるが、実際は団体経由が全てであり、協和木材側も団体を介在させる合理性について認識を深めているようだ。

(3) 課題

ア 森林組合納材に占める下請け等(素材生産事業体が生産)の納材割合は、9~11月までの合計では63%に及び、素材生産事業体が下請け的存在として利用されている実態が明らかになっており、対応策を検討する必要がある。

イ 県内外の大口需要者側が、原木の手当を推進する一環として、国有林への入札参加及び高値落札していることや民有林にあっても立木の買取を進めている情報等もあり、素材生産事業体に様々な影響を及ぼし始めている。

ウ 他の素材生産団体から脱会の働きかけ等の動きもあり、脱会する組合員も出ている等、本来旺盛な需要への対応に全力を傾ける時期にもかかわらず、見えないところでの動きもあり組織防衛の対応も必要となっている。

エ 集成材用材の買入れは低価格で推移していることから、木産協の共同納材の手数料に関してより適切な対応を求める要請もあった。(現在木産協は実費手数料を徴収)

これら状況を踏まえ、素材生産組合員はより強固な団結により、大口需要者に対する納材の主導権を確立し、業界の社会的、経済的地位の向上に向けて一層尽力する必要がある。

(4) 原木納材の内訳

9月1日~12月31日:合計 30,350m³

(単位:m³)

山形県				宮城県	秋田県	岩手県 (秋田・山形材)	県産材率
木産協系	森組系	その他	計				
7,000	9,950	900	17,850	2,300	3,900	6,300	59%

※その他は、協和木材(株)直営 750m³等

3 第 6 回山形県地域材利用推進協議会を開催

1 月 19 日 (木)、山形国際ホテル (山形市) を会場に標記協議会 (阿部昭会長) を開催したところ、委員及びアドバイザーなど 17 名が出席した。

本協議会は、平成 28 年度の国庫補正事業である「地域材利用拡大事業」の取り組み内容等について、実施にあたり関係業界や行政機関から様々な意見を伺うものであり、前回の事業成果を継承しつつ、特に A 材の利用拡大等について力点が置かれている。

昨年 11 月の前年度補正事業結果を評価・検証した意見には、県産 A 材の利用拡大に向けた全国的な発信の強化やモデル展示、さらに設計・施工業界との連携の強化等が総括されており、昨年 11 月に、県木産協から全木連、林野庁に提出した本事業計画においてもそれを踏まえた内容としている。

意見として、設計・施工業界との木構造推進の研修会の共同開催や、内装モデル展示等での参考事例の紹介、地域材利用拡大のために木工クラフト品を活用する有効性、展示会等での効果の判定方法等、様々なご意見をうかがうことができた。

これらを踏まえ、次の取り組みを展開する。(交付決定額は 4 つの取り組みで 750 万円)

また、組合員や県プレカット協会、県 JAS 製材連絡協議会等との連携の下に、事業の発展を目指すことにしている。



【 協議会状況・挨拶する阿部会長 】

事業種目	事業内容
1 地域材利用推進協議会の開催(2回)	実施内容の検討・アドバイス、協力体制の確立、実施後の評価・検証等 1月、9月
2 イベントにおける県産材(A材)活用の住宅構造躯体の展示等 (3ヶ所)	集客数の大きいイベントでの地域材(A材)活用の住宅構造躯体及び関連木製品等の展示 PR 2月 木と住いの大博覧会(東京都) 6月 日本一さくらんぼ祭り (山形市・木工品のみ展示) 7月 耐震住宅博覧会(仙台市)
3 地域材(A材)を活用し、一定期間内の内装木質化のモデル展示等 (1ヶ所)	県産製材品や加工技術を広く PR するため、不特定多数が利用する、山形空港事務所の「おくつろぎ」コーナーを一定期間借り受け、壁面、天井の木質化等をモデル展示し、県産材の良さ等を PR。2月～5月 ※空港事務所側とは調整済で、これからの全体木質化等への足掛かりとしていく。
4 木材及び設計・施工業界の連携を図るため、木構造の設計・施工に関する研修会を開催。(1～2回)	非住宅及び中高層施設の木造・木質化を推進するため、木構造設計等の専門家を招いて研修会を開催し、木材への認識及び設計スキル等の向上を図る。6月

4 東京ビッグサイト展示会へ準備整う!!

この 5 年間は、仙台で開催される耐震住宅博覧会に出展し、組合員、賛助会員等のご協力の下、ディスプレイ大賞を受賞する等、内容の豊富さや集客数等では他県ブースを圧倒してきた感がある。

一方、毎年の展示会参加が仕事に直結しているわけではなく、参加者の負担も大きい。また、県産協では他県の丸がかえ参加と異なり、出展者の意欲や自主性を尊重しており、経費の支援も運賃等に限定して行っている。この中でのご協力には頭が下がる思いである。

また、この種のイベントは、継続することにも意義があり、その熱意や真摯な対応が共感を呼ぶことも多い。林業まつりは 26 回を数え県民の間に広く定着し、楽しみしている県民が多いこと等が裏付けている。その他、林業まつりには国等の行政機関や全国団体、大手企業等も見学に来ており、その賑わいは山形の森林・木材産業等の特徴としての認識があるようだ。

この度、仙台等での一定の評価を背景に、最大の消費地である東京での国内最大の展示会に初めて出展することにしたもので、関係業界からのこれまで以上の協力が必要と考えている。また、主催の「木と住まいの研究協会」等からは、全木連の HP に動画紹介された林業まつり等の影響か「山形は山の恵み全体を PR するブース」としての出展要請があった。

これらを受けて、県産木材、加工・建築技術に絞った出展から、特用林産物や木育体験等も含めた幅広い展示を企画したところ、幸いにも県当局や多くの関連業界からご協力をいただけることになった。御礼申し上げます。イベント内容や出展概略(予定)は次の通り。

- 1 名称等：「木と住まいの大博覧会」(主催：木と住まいの研究協会等、後援：林野庁等)
- 2 日 時：2 月 3 日(金)13 時～5 日(日)16 時 (3 日は 17 時まで、4 日は 10～17 時、5 日は 10 時～)
- 3 会 場：東京ビッグサイト 西展示棟 1・2・3 ホール 入場無料(江東区有明)
- 4 内 容：「山の恵み」の視点で、県産木材、建築技術、木工品、特産品等の 21 社等出展。
- 5 その他：県及び森林協会や大江町からもご協力をいただけることになった。

No	事業体名	展示内容 【東京近辺のお知り合いにも是非周知方願います】
1	山形県	住宅支援制度・観光パンフレット等配布、山形県ブース PR 等
2	(株)沼澤工務店	金山杉の優良大径材を活用した和風構造躯体の展示、A 材・建築技術 PR
3	(株)相原木材	カンナ屑を活用した「木花」展示販売(新視点と美学の融合)
4	富一木材店	木目の美しい小型木製入れ物(小鉢)の展示
5	柿崎製材	木育遊具「KAKIMOKU-積木」展示販売、「木育コーナー」でも活用される
6	杉山木工	H27 知事賞受賞の木工クラフト品等展示販売
7	家具工房モク	H28 知事賞受賞の木工クラフト品等展示販売
8	(株)シェルター	耐火集成材展示、建築事例の紹介等
9	(株)ニューテックシンセイ	木育遊具「モクロック」展示販売、「木育コーナー」でも活用される
10	(協)オークファーム	菌床なめこ展示販売(県内最大の生産者)
11	暮らし考房	メープルシロップ展示販売(いたやカエデの樹液を精製)
12	もがみ農業協同組合	菌床しいたけ展示販売(県内最大の生産流通事業体)
13	庄内たがわ農業協同組合	山ぶどうワイン等関連商品展示販売(月山ワイン研究所)
14	柳川山菜加工組合	天然、原木キノコの缶詰等展示販売
15	よってけばぼら	敬翁桜の展示販売(国内最大の生産地)
16	ケン玉レジェンド	競技用ケン玉生産日本一の長井市のグループでけん玉教室開催等
17	(有)舟形マッシュ	木質バイオマス熱利用で生産している巨大マッシュルーム等展示販売
18	趣味処「匠」	木造住宅にマッチする植物インテリアの展示販売
19 ~21	木産協・森林協会・ 大江町	山形県ブースの企画・コーディネート、山形の木造住宅のパンフレット・山形の山の恵みチラシ配布、PR 販売支援等

5 お知らせ、会議・イベント等

<p>(1) 「木と住まいの大博覧会」への出展 (木と住まいの研究協会等主催)</p> <p>日 時：2月3日(金)13時～5日(日)16時</p> <p>会 場：東京ビッグサイト(東京都江東区有明)西展示棟1・2・3ホール 入場無料</p> <p>内 容：本県は「山の恵み」のテーマで、組合員等21社等が出展予定。 詳細は本誌4ページ参照。都合のつく組合員は是非見学にお越しください。</p>
<p>(2) やまがた雪フェスティバル コラボイベント「木育 食育」の開催 (寒河江市主催)</p> <p>【東京おもちゃ美術館がやってくる!!(東京都四谷にあります)】</p> <p>日 時：2月4日(土)～5日(日) 両日とも 10時～15時</p> <p>会 場：最上川ふるさと公園内 「チェリーナさがえ」</p> <p>その他：入場料 100円/人(子供も大人も) 木製遊具多数展示。一度ご参加下さい。</p>
<p>(3) 山形木材業組合 2017 通常総会への出席</p> <p>木産協の最大支部であり、地域材の公共建築物への利用促進等に積極的に取り組みを進めている標記組合の通常総会が下記により開催される。</p> <p>日 時：2月9日(木)17時～</p> <p>会 場：亀松閣(山形市薬師町)</p> <p>その他：木産協からは来賓として阿部理事長が出席予定</p>
<p>(4) 第2回もがみ森林「創」産業推進大会の開催 (県最上総合支庁等主催)</p> <p>県内最大の林業地である最上地域において、地域活性化、関連産業の連携と交流等を目的に標記推進大会が下記により開催される。参加無料。組合員の出席をお願いします。</p> <p>日 時：2月14日(火)14～17時</p> <p>会 場：新庄ニューグランドホテル(新庄市若葉町)</p> <p>内 容 講演1 演題「原木産地をつなげ安定供給」(仮題) 講師：鈴木信哉氏(ノースジャパン素材流通協同組合理事長)</p> <p>講演2 演題「原木産地が優位に立つ条件は」(仮題) 講師：赤堀楠雄氏(林材ライター)</p> <p>鼎 談 テーマ「多様な需要から山を動かし地域を活性化する」(仮題) 演者 鈴木信哉理事長、赤堀楠雄氏、佐川広興氏(協和木材(株)社長)</p> <p>その他 ポスターセッション5課題</p> <p>その他：参加無料 申し込み先 最上総合支庁森林整備課 電話 0233-29-1347</p>
<p>(5) 平成 28 度山形県森林・林業技術普及推進会議の開催</p> <p>県森林研究研修センターの研究報告や次年度以降の研究内容等について検討協議する。</p> <p>日 時：3月15日(水)13時30分～</p> <p>会 場：県森林研究研修センター講堂(寒河江市)</p>
<p>(6) 講演会のご案内 (山形県木産協 酒田飽海支部等主催)</p> <p>行政機関等への要望活動等の地域活動を積極的に展開している酒田飽海支部では、この度木材利用の促進を目指した講演会を開催する。組合員のご出席をお願いします。</p> <p>日 時：2月22日(水)15～17時</p> <p>会 場：酒田市港南コミュニティ防災センター</p> <p>内 容：テーマ「木材利用新時代」～木材利用促進基本方針策定講演会～</p> <p>演題「山形県の豊かな森林資源を活用した地域活性化条例制定」定義の主旨解説 講師：庄内総合支庁森林整備課 課長 古川和史氏</p> <p>演題「酒田市木材利用促進基本方針の策定」趣旨の解説について 講師：酒田市 農林水産課 課長 本間優子氏</p> <p>その他：お問い合わせは、木産協酒田飽海支部 電話 0234-33-3566</p>

6 12月期の住宅着工状況

1～12月累計ではこのH21年以降で一番の着工数。木造率や在来工法率も高い。顕著ではないが、持家は3%減少、その分貸家等の割合が増加している。全国的には貸家が13ポイント程度、持家を引き離している。地域材主体の住宅かどうかは不明だが、今後の展開に様々眺み取れるもの多数あり。

1 県内新設住宅着工戸数(平成28年12月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
12月	437	166	226	2	43	434	3	326	74.6%	251	8	67
27.1～12	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.6%	3,138	130	1,307
28.1月	331	135	132	1	63	330	1	280	84.6%	169	7	104
2月	274	171	59	0	44	270	4	249	90.9%	155	4	90
3月	388	206	135	0	47	385	3	330	85.1%	214	7	109
4月	447	309	87	4	47	443	4	419	93.7%	310	16	93
5月	423	291	66	2	64	418	5	386	91.3%	297	5	84
6月	541	325	165	0	51	527	14	456	84.3%	354	13	89
7月	648	348	215	1	84	637	11	548	84.6%	382	16	150
8月	491	288	171	2	30	472	19	430	87.6%	272	11	147
9月	501	249	205	2	45	501	0	440	87.8%	289	8	143
10月	652	252	329	2	69	645	7	526	80.7%	348	6	172
11月	515	256	173	0	86	509	6	414	80.4%	298	9	107
12月	464	216	193	2	53	455	9	397	85.6%	282	7	108
対前月比	90.1%	84.4%	111.6%	-	61.6%	89.4%	150.0%	95.9%	-	94.6%	77.8%	100.9%
対前年同月比	106.2%	130.1%	85.4%	100.0%	123.3%	104.8%	300.0%	121.8%	-	112.4%	87.5%	161.2%
27.1～当月計	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28.1～当月計	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
対累計前	105.0%	99.0%	112.1%	106.7%	115.6%	104.8%	127.7%	106.6%	-	107.4%	83.8%	106.8%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成28年12月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	464	5,675	106.2%	105.0%	4,875
山形市	112	1,439	86.8%	98.7%	1,078
上山市	11	108	52.4%	74.5%	102
天童市	33	397	103.1%	102.8%	383
山辺町	11	87	183.3%	133.8%	78
中山町	1	46	25.0%	88.5%	35
東南村山	168	2,077	87.5%	98.6%	1,676
寒河江市	21	266	91.3%	120.4%	227
河北町	8	100	266.7%	108.7%	76
西川町	0	4	-	40.0%	4
朝日町	0	8	-	100.0%	7
大江町	0	23	-	135.3%	22
西村山郡	29	401	111.5%	115.2%	336
村山市	2	71	100.0%	77.2%	69
東根市	37	486	123.3%	108.0%	432
尾花沢市	9	49	-	196.0%	44
大石田町	0	8	0.0%	21.6%	8
北村山	48	614	145.5%	101.7%	553
村山地域	245	3,092	97.6%	101.1%	2,565
新庄市	5	182	23.8%	137.9%	180
金山町	4	5	-	45.5%	5
最上町	1	39	100.0%	975.0%	39
舟形町	0	3	0.0%	33.3%	3
真室川町	0	17	-	170.0%	17

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	2	-	33.3%	2
鮭川村	0	8	-	133.3%	8
戸沢村	0	3	-	75.0%	3
最上地域	10	259	43.5%	142.3%	257
米沢市	32	492	72.7%	79.5%	454
南陽市	31	202	1033.3	130.3%	190
高畠町	17	117	340.0%	141.0%	115
川西町	5	67	-	181.1%	65
東南置賜	85	878	163.5%	98.2%	824
長井市	22	115	64.7%	66.1%	107
小国町	1	11	-	91.7%	10
白鷹町	0	36	0.0%	83.7%	36
飯豊町	1	18	-	150.0%	16
西置賜	24	180	64.9%	74.7%	169
置賜地域	109	1,058	122.5%	93.2%	993
鶴岡市	33	631	89.2%	137.2%	503
三川町	9	40	81.8%	114.3%	36
庄内町	2	64	50.0%	88.9%	61
田川	44	735	84.6%	129.6%	600
酒田市	43	503	195.5%	114.8%	433
遊佐町	13	28	-	121.7%	27
飽海	56	531	254.5%	115.2%	460
庄内地域	100	1,266	135.1%	123.2%	1,060

注:累計は平成28年1月～

